

富士フィルム レスポンシブル・ケア(RC)組織・管理体制

富士フィルムは、化学品を取扱うメーカーとして、早くから環境問題に取り組んできました。1970年には環境・安全管理専門部門を工場に設置、翌71年には本社にも設置しました。現在では、各営業及び研究開発部門に環境・安全関係担当者を置き、これらが中核となるライン組織として業務にあたっています。

また、89年には役員をメンバーとする全社横断的な委員会組織として、環境保全委員会が設置され、全社的な環境・安全問題の

推進にあたることになりました。95年、JRCC加入を機にこの委員会は富士フィルム レスポンシブル・ケア(RC)委員会と改称され、富士フィルムはRC実現の目標を明確にしました。富士フィルムRC委員会の下には全社課題に応じた推進チームが編成され、その実行・推進にあたっています。

富士フィルムRC推進体制

ライン組織（縦系列の組織）



委員会組織（横系列の組織）

